

## 街頭検査実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。なお、検査結果は次のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要	
6月10日(月) 13:30~16:00	県立美術館駐車場	運輸支局 独立検査法人 甲府西支部 振興会 ディーゼルポンプ協会 二輪普及協会	総検査車両数 不良車両数 整備命令 口頭注意 車検切れ	140台 8台 2台 6台 1台
		5名 1名 5名 2名 3名 3名		

### 【主な不適合箇所】

整備命令 最低地上高不足、騒音防止装置無、回転部分の突出など  
口頭注意 制動灯不点灯、タイヤ摩耗など

※ 甲府西支部の皆様、ご協力ありがとうございました。

## 未認証行為防止啓発について

国土交通省では、未認証事業者の排除に向けた取り組みの一環として、情報収集・調査等の一層の強化を図るため、毎年7月を強化月間として、未認証防止対策を推進しています。

未認証に関する情報がありましたら、本誌26ページの情報提供用紙により、各支部長経由にて振興会にご連絡下さいますようお願いします。



## 「夏の交通事故防止県民運動」について

これから夏の行楽シーズンに向けて、事故の多発や暴走族の活動の活発化が懸念されます。

このため、本年も7月21日（日）から8月20日（火）までの31日間、「夏の交通事故防止県民運動」が実施されます。

つきましては、この運動の趣旨を十分御理解のうえ、「重点目標」に沿った諸施策を計画的に展開され、交通事故防止の徹底が図れますようお願い申し上げます。

### 1. 目的

この運動は、児童、生徒等の夏休みと夏の行楽シーズンが重なる夏季において、交通事故の多発や暴走族の活動の活発化が懸念されたため、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実施を徹底し、交通事故の防止を図ることを目的とする。

### 2. 期間 7月21日（日）～8月20日（火）

### 3. 年間の交通安全スローガン

「心地良い 交通マナーが 照らす未来（あす）」

### 4. 重点目標

- 1 高齢者と子どもの交通事故防止
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 自転車の安全利用の推進
- 4 飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放
- 5 二輪車の交通事故防止

## 平成25年度「全席シートベルト・チャイルドシート着用徹底運動 (7, 8月重点期間)」の実施について

県内一般道における運転席のシートベルト着用率は、平成24年度全国調査（警視庁・JAF全国調査）の結果、98.5%となり、全国平均（97.7%）を上回りました。

しかし、後部座席のシートベルト着用率は36.4%と、全国平均33.2%こそ上回ったものの、4割に満たない低い着用率となっています。

また、本年4月に行われたチャイルドシートの着用率調査では、56.0%（全国平均60.2%）となり、全国平均で初の6割台を達成しましたが、まだまだ高い着用率とはいえず、自動車乗車中の乳幼児の安全性が危惧されております。

このため、本年度も継続して着用率調査と広報啓発活動、指導取締りとを組み合わせた、全席シートベルト・チャイルドシート着用徹底運動（7, 8月重点期間）を実施します。

つきましては、この運動の趣旨を十分ご理解のうえ、全席シートベルト・チャイルドシートの着用率向上に向けた運動を展開して頂きますようお願い申し上げます。

### 1. 目的

交通事故被害を軽減させる効果の高い全席シートベルト・しいチャイルドシートの着用について通年の徹底運動として推進するとともに、毎月14日の着用推進の日や、7, 8月の重点期間を中心に、広報啓発と指導取締りを連携させて実施する等、運動の総合的かつ効果的な展開を図る。

### 2. 運動の概要

#### （1）「全席シートベルト・チャイルドシート着用推進の日」キャンペーン

「全席シートベルト・チャイルドシート着用推進の日」である、毎月14日を中心に、広報啓発運動及び街頭指導等を実施する。

#### （2）重点期間の設定

7, 8月の2ヶ月間を重点期間とし、同時期に実施する「夏の交通事故防止県民運動」と連動させながら、着用率の調査、広報啓発、指導取締りを組み合わせた効果的な運動を展開する。



## 試験関係のお知らせ

### 平成25年度第1回自動車整備技能登録試験

標記試験が次のとおり実施されます。

受験希望の方は、登録試験申請用紙（教育課窓口にてご用意してあります）に必要事項を記入の上、必要書類を揃え受付期間中にお申込み下さい。

#### ◇実施種目

	学科試験	実技試験
試験の種類	<ul style="list-style-type: none"><li>・二級ガソリン自動車</li><li>・二級ジーゼル自動車</li><li>・二級二輪自動車</li><li>・三級自動車シャシ</li><li>・三級自動車ガソリン・エンジン</li><li>・三級自動車ジーゼル・エンジン</li><li>・自動車車体</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・二級ジーゼル自動車</li><li>・三級自動車ガソリン・エンジン</li></ul>
受付期間	<b>8月5日（月）～8月9日（金）</b>	
試験日	10月6日（日）	平成26年1月19日（日）
試験会場	(一社)山梨県自動車整備振興会 研修センター	未定

※実技試験を受ける人は学科試験合格者のみ対象。

#### ◇受験資格 二級受験者は三級整備士合格後3年以上の実務経験者

三級受験者は1年以上の整備作業実務経験者

（注）実務経験の短縮対象者

二級 大学機械科卒業者 1.5年

高校機械科卒業者 2.0年

三級 大学・高校機械科卒業者 0.5年

#### ◇申込時に持参するもの

①登録試験申請書（教育課窓口にご用意してあります）

②受験手数料

	金額
学科試験	4,300円
実技試験	12,100円

※実技試験を続けて受験される場合は、  
学科試験合格後実技試験受験手数料を  
納付して頂きます。

③受験資格を証明する証書・証明書

・二級受験者は三級整備士の合格証書

・実務経験の短縮を受ける方は、卒業証書又は証明書等

④写真 1枚（縦6cm×4.5cm）

⑤印鑑

⑥はがき（受験者の住所、氏名を記入して下さい）2枚

※実技試験を続けて受験する場合は、学科試験合格後に実技試験用案内はがき2枚  
別途提出して頂きます。

## 各種研修・講習会のお知らせ

### 1. 自動車検査員研修会

標記研修を次のとおり実施致します。該当者は必ず受講されますようお願い致します。

研修対象者とは、

- ①自動車検査員として選任されている者全員
  - ②自動車検査員有資格者（自動車検査員に選任予定の者等）
- ※**3年以上**自動車検査員として選任されていなかった者を選任する場合は、  
直近の自動車検査員の研修を受講していることが必要となります。

◇研修日時

研修日	教習修了番号	受付時間	研修時間
7月26日（金）	1～39000号	13：00	13：30 ～13：30 ～17：00
7月29日（月）	39001～56000号		
8月5日（月）	56001～67000号		
8月9日（金）	67001号以降の者		

◇研修会場 かいてらす（大ホール）（教育実習場増築工事の都合上、会場が外部施設利用となります。）

周辺地図



◇研修費用 3,500円（テキスト代含む）

### 2. 自動車整備技能登録試験対応講座

平成25年度第1回自動車整備士技能登録試験（平成25年10月6日（日）実施）を受験する者を対象とした標記講座を下記の日程等により行いますので、受講をお勧めします。

◇受付期間 8月5日（月）～8月30日（金）

◇実施種目 2級ガソリン自動車 3級自動車ガソリン・エンジン

◇講習日時

第1日	9月18日（水）	9：10～15：50
第2日	9月20日（金）	9：10～15：50
第3日	9月24日（火）	10：00～15：50

◇講習会場	(一社) 山梨県自動車整備振興会 研修センター
◇講習内容	過去に実施された検定・登録試験の問題をもとに、出題の傾向と対策を研究学習
◇使用教材	当振興会で作成した問題及び過去に実施した検定・登録試験問題等 ※下記のテキストは、必ず各自で持参して下さい。
	◆ 2級ガソリン自動車 ⇒ <u>2級ガソリン・エンジン編</u> 、 <u>2級シャシ編</u> 、 <u>法令教材</u>
	◆ 3級自動車ガソリン・エンジン ⇒ <u>3級ガソリン・エンジン編</u> 、 <u>基礎自動車工学</u> 、 <u>法令教材</u>
◇受講料	2級、3級・・・15,000円（資料代含む） (申込後の未受講において、受講料の返金は出来ませんのでご了承下さい。)

### 3. ハイブリッド車整備講習会

ハイブリッド車の車検整備における一部定期交換部品として、「ブレーキフルード」、「インバーター冷却水」等がありますが、E C B搭載のプリウスは通常のペダリング方法だけでは、フルード交換が出来ません。また、インバーターの冷却水交換においては、冷却水通路のエア抜きが必要となります。「整備時の注意点」、「整備モード」、「ブレーキ禁止モード」、「E C B搭載ブレーキのフルード交換」、「インバーター冷却水の交換」等、これら車検整備時に必要な事柄を実習にて行います。

◇ 受付期間	<b>6月3月（月）～7月19日（水）</b>
◇ 講習日時	8月7日（水）9：30～17：00
◇ 講習会場	(一社) 山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
◇ 担当講師	ディーラートレーナー、教育課職員
◇ 講習内容	ハイブリッド車の整備における注意点 (30系) 整備モード、ブレーキ禁止モードへの移行方法 (20系) E C B搭載ブレーキフルード交換実習 (スキャンツールを使わずに行う方法) (10系) インバーター冷却水の交換実習、補機バッテリー交換時の各システム初期化方法
◇ 持ち物	筆記用具
◇ 定員	<b>30名</b> （定員になり次第締切とさせて頂きます）
◇ 受講料	5,000円（資料代含む） (申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

### 4. 自動車エンジン電装講習会 (STEP UP3)

自動車のエンジン故障は、日々複雑になっています。  
また、外部診断機器を使用しないと故障系統すら分からず状態です。  
振興会所有の外部診断機を使って、エンジン電装理論、故障診断をしてみましょう。

◇ 受付期間	<b>6月3日（月）～8月9日（金）</b>
--------	------------------------

- ◇ 講習日時 8月21日（水）9：30～16：00
- ◇ 講習場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 外部講師
- ◇ 講習内容 自動車エンジン電装の理論と、ベンチエンジンや実車で外部診断機を使用した故障診断等の講習です。

**【注意 回路図を使って行いますが、回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】**

- ◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定員 10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）
- ◇ 受講料 5,000円（資料代含む）  
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

## 5. 自動車ボディ電装講習会（STEP UP2）

自動車のボディ関係の電気回路についての講習会です。

システム回路図などを読みながら、実習車の作動確認及び故障探求をしてみましょう。

- ◇ 受付期間 5月1日（水）～7月19日（金）
- ◇ 講習日時 7月24日（水）9：30～16：00
- ◇ 講習場所 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 外部講師
- ◇ 講習内容 配線図、システム回路図、儀装図の理解  
実習車を用いて  
・灯火関係故障探究  
・パワーウィンドウ関係故障探究  
・ドアミラー関係故障探究  
・その他

**【注意 回路図の読み方の講習は行いませんので、自動車電気基礎入門を受講済みの方、又は回路図が読める方を対象とします】**

- ◇ 持ち物 サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
- ◇ 定員 10名（定員になり次第締切とさせて頂きます）
- ◇ 受講料 3,000円（資料代含む）  
(申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

## 6. スキャンツール基本研修会

スキャンツール活用事業場認定要件の一つの、応用研修の受講条件である基本研修を開催します。

- ◇ 受講条件 三級自動車整備士以上でスキャンツール使用未経験者
- ◇ 受付期間 6月3日（月）～7月31日（水）
- ◇ 講習日時 8月19日（月）13：00～16：00
- ◇ 講習会場 （一社）山梨県自動車整備振興会 研修センター及び実習場
- ◇ 担当講師 教育課職員

◇ 講習内容	スキャンツール（日立HDM3000・デンソーDST-2、DST-i）を使い、機器の取扱い方法と実車での簡易な故障探求 (以前行いました外部診断機等取扱講習と同じ内容です)
◇ 持ち物	サーキットテスタ（デジタル）、筆記用具
◇ 定員	<b>20名</b> （定員になり次第締切とさせて頂きます）
◇ 受講料	4,000円（資料代含む） (申込後の未受講において、受講料の返金は出来ません。また、申込が少ない場合には、講習日を延期する場合もありますのでご了承下さい。)

### 各種研修・講習申込方法

申込書は、本誌巻末・教育課窓口にあります。また、振興会ホームページ (<http://www.ams.or.jp>) の「会員ページ」からもダウンロードできます。  
必要事項を記入の上、受講料を添えて教育課までお申し込み下さい。

## スキャンツール活用事業場認定制度 「コンピュータ・システム診断認定店」 がスタートします。

ユーザーの信頼を獲得することを目的にスキャンツールを活用して、整備作業及び診断作業の効率化を図るとともに、自動車の電子制御装置の機能診断が実施できる整備事業場を認定する制度です。

認定に当たり以下の条件が必要となります。

#### 1) スキャンツール基本並びに応用研修受講済者又は1級自動車整備士が在籍

(スキャンツール基本研修とは、スキャンツール未経験者に対する研修)

\*スキャンツール基本研修免除に関して

- ・過去に振興会に於いて既に同程度若しくは、それ以上の内容の研修を修了した者は、その後のスキャンツール使用の経験も積み、十分知見を有していると判断できることから、基本研修を免除します。
- ・H13年度、14年度、15年度の三年間のいずれかの整備主任者研修においてスキャンツールを使用した研修を受講した方。
- ・振興会の行ったスキャンツール研修のうち、上記整備主任者研修の内容と同等以上（研修時間は問わない）の研修を受講した方。なお、当該スキャンツール研修はその後のスキャンツール習熟度合いを加味して、研修時間が6時間に満たないものであってもこれを認めます。
- ・以下1～12に係るスキャンツールメーカー、損害保険会社、電装品組合等が実施した（する）整備事業者向けの研修で、スキャンツール活用研修会実施要領で定めた研修内容、研修時間、教材、指導員が基本研修と同等以上の研修を受講した方。

【研修実施団体名称（研修主催者名称）】

1. (株) 損保ジャパン代理店サポート ((株)損保ジャパンまたはAIRジャパン)
2. 日本興亜損害保険(株) (日本興亜損害保険(株))
3. エーシー企画(株) (三井住友海上火災保険(株) またはアドバンスクラブ)
4. (株) あいおいニッセイ同和自動車研究所 (あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
又は(株) あいおいニッセイ同和自動車研究所)
5. 東京海上日動オートサポートセンター (東京海上日動火災保険(株))
6. (株) デンソーセールス「スキャンツール活用基本研修コース」
7. (株) 日立オートパーツ&サービス「HDM・5ガステスタの活用講座」及び「診  
断サポートシステム活用講座」ただし、両講座を共に受講されていること。  
「PitCom 基本講座」受講済者
8. ロータストラックネット
9. (株) インターサポート
10. スナップオン・ツールズ(株)
11. 安全自動車(株)
12. (株) スマートダイアグ

上記各研修実施団体から発行される受講証明書の写しを添付して頂ければ、**内容確認の上、基本研修受講済とさせていただきます。**

\*スキャンツール応用研修について

スキャンツールの各種機能を用いて故障探究を行う研修

本年度3回実施予定 7月17日(水)、11月13日(水)、【5月15日(水)実施済み】

2) スキャンツール所有

①J-OBDⅡ対応、②DTC読み取り・消去、③作業サポート、④データモニタ、⑤フリー  
ズフレームデータ、⑥アクティブテストの機能を有する物でコードリーダーは不可となります。

ただし、一部が未対応でも複数台所有し上記条件を全て満たせば結構です。

3) FAINES通常会員であること

なお、認定を受けた事業者は、点検・整備の取引に際し、顧客に対しスキャンツールによる診断  
結果について説明し、かつ可能な限り診断結果の印刷物を提供して頂く必要がありますので、ご理  
解の上申請をお願いいたします。

(認定ツールのご案内)



スキャンツール活用事業場認定看板  
(サイズ : W600 × H498mm)  
4,550円（税込）



スキャンツール活用事業場認定のぼり  
(サイズ : W600 × H1,800mm)  
2,000円（税込）2枚入り  
(竿については別途必要)



スキャンツール活用事業場認定卓上盾  
(サイズ : W180 × H240 mm)  
3,000円（税込）

### 普通救命講習の報告

6月7日（金）午前9時から3時間、笛吹市消防本部のご協力を頂き、標記講習会が参加者29名により実施され、全員に笛吹市消防本部から「普通救命講習」修了証が交付されました。

始めは慣れない手際で行なっていた救急救命の処置が、笛吹市消防本部4名の講師の方々による熱心な個別指導により、講習が終了するまでには参加者された皆様が手際よく処置方法を実践できるようになりました。

今回の講習を受け、「救命のリレー」により救命処置がスムーズに行なわれ、「助かる命」を助けられる一助にしていただけたらと思います。

以前受講された方も2~3年を目安に再受講し、手順の確認や、最新の処置方法を学ぶことが大切です。



## 低圧電気取扱特別講習の報告

6月7日（金）午後1時より、ディーラートレーナーのご協力を頂き、標記講習会が実施され、「低圧電気取扱特別教育」修了証が参加者31名に交付されました。

本講習会は、「労働安全衛生法第59条安全衛生特別教育規定」の趣旨に基づく特別講習として、ハイブリッド車、電気自動車の整備を対象とした講習です。



## スキャンツール基本研修の報告

スキャンツール基本研修を6月12日（水）に参加者12名で実施いたしました。本研修会は、スキャンツール応用研修会へのステップアップとして、スキャンツール未体験者を対象とした研修で、スキャンツールの操作方法や簡単な故障探究方法などを行いました。



## CNG自動車講習会の報告

山梨運輸支局主催のCNG自動車講習会を6月24日（月）参加者10名にて実施いたしました。

CNG自動車の構造から取扱い基準、保安基準、通達及び容器の取扱いと付属品と関係法令等の学科講習を専門官より実施し、配管継ぎ手、ガス漏れ点検要領などの実習を行いました。



# FAINES新規入会キャンペーン

全国の振興会会員を対象として、新規にFAINESへ入会する際に、入会金の割引キャンペーんを期間限定で実施します。キャンペーンの詳細は以下の通りとなります。

## (1) キャンペーン内容

入会金12,000円 → 7,000円 【5,000円割引】

※新規入会の事業者限定となります。(会員外及び再入会は対象外)

## (2) 対象期間

平成25年6月1日(土)～平成26年1月31日(金)

※所属振興会での入会登録が上記期間の場合に適用となります。

## お支払は、安心・便利な口座振替！

- ・サービス料金は、ご指定の金融機関の口座からの自動引き落しとなります。
- ・通常の振替月は、5月(1~3月)、8月(4~6月)、11月(7~9月)、2月(前年10~12月)の年4回の実施となります。  
(振替日は振替月の6日)



### FAINESで出来る事

1. メーカーの整備マニュアルが直接閲覧できます（旧型車については掲載されていないものもあり）
2. スキャンツールを活用した診断ができる（正常車両からのデータ掲載　日立、デンソー）
3. 故障整備事例＆アドバイス情報を入手できる（実体験を元にした故障現象の原因と整備内容）
4. 正しく透明性のある料金計算ができる（自動車整備作業点数表）
5. サービスデータが手軽に確認できる（国産＆輸入自動車各車種の主要諸元値、点検基準値）
6. 技術情報が確認できる（新型車の解説、点検方法、整備作業上のポイント）
7. タイミング・ベルト交換要領が入手できる（エンジン型式別の交換要領）
8. 整備主任者研修用資料が閲覧できる（過去分の資料）
9. 電子燃料噴射装置故障探究マニュアル（主要車種のエンジン回路図、自己診断方法等）
10. リコール情報がいち早く入手できる（型式や届出番号から検索）
11. その他の情報（関係官庁や関連団体、自動車メーカー等から発信された情報等）

以上が、毎月1,000円（税別）の会費ですべて見放題！

## 全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol. 18

### ケースその1

#### 【相談】

内容：車検の翌朝、燃料ポンプの不良でエンジンがかからない

- ・車名：乗用車 ・登録年月：平成8年8月 ・走行距離：不明

車検を済ました翌朝エンジンが始動しなかったので、車検をお願いしたP自動車で診てもらったところ、燃料ポンプの不良で4万円かかると言われた。車検と関係があるのではないか、そうでなければプロなのだから車検受付時に、「古いので壊れそうですよ」とか助言して欲しかったとの問合せ。

#### 【対応】

相談者に、燃料ポンプは車検時の2年点検の点検項目ではないし、外観から見えるものでもない。また、いくらプロの整備士といえども、お客様の車の燃料ポンプがいつ故障するのか等はわからない。こればかりは、たんなる故障であると思われる所以、工場側と話し合い早期に解決するよう伝えた。その後、相談者からは連絡はない。

### ケースその2

#### 【相談】

内容：勝手に部品を交換されるし、点検整備記録簿の記載もでたらめ

- ・車名：不明 ・登録年月：不明 ・走行距離：不明

A整備工場に車検を依頼したが、何の連絡もなしに勝手に部品を交換され12万円程の請求があった。部品の交換は、白金プラグを取付けてあったのに交換された。また、ディスクパッドが交換された。（前回車検時の残厚が7mmであり、その後、3万km程度の走行で交換が必要となるのか。）また、点検整備記録簿の記載内容がでたらめであった。

#### 《事例》

・ディストリビュータが装着されていない車両であるにも係わらず、「ディストリビュータのキャップの状態」の点検結果が記載されていた。

・電動パワステが装備された車両であるにも係わらず、「パワー・ステアリングのベルトの緩み・損傷」の点検結果が記載されていた。

A整備工場とは、まだ話合いの機会を持っていないがどのように話を進めていけばよいのか相談したい。

#### 【対応】

相談者から、「まだ、整備工場へは連絡をしないで欲しい」とのことであったので、以下について助言を行なった。

・部品の交換については、保安基準に適合しなくなる恐れをなくするための必要な整備作業として行なわれたものと思われますが、認証工場が遵守しなければならない事項の一つとして、“概算見積りの後に、作業過程において見積り金額の変更を伴う整備の必要性が新たに発見された場合には、あらかじめ依頼者の了解がある場合を除き、原則として依頼者に対し追加整備の内容及び変更後の概算見積りについて連絡し、了承を得た上で作業を行なわなければならない。” ということがありますので、ユーザーの了解を得ないまま勝手に行なったのであれば不適切であったと思われます。また、記録簿の記載については、記載誤りではないかと推測されますので、A整備工場に対し、実施した整備の必要性等及び点検整備記録簿の記載誤りについて説明を求めていただいたらどうか。

相談者から「整備事業者が、遵守事項を守っていない場合はどうなるのか」との照会があった。この行為だけで、行政処分等が科せられることは無いと思われます。必要に応じ、当会から指導します。旨の回答を行なった。

## 4WD車タイヤ交換とタイヤ空気圧調整の際の遵守事項

### ■ 内容

4WD車はエンジンの駆動力をバランスよく4輪に伝えており、4輪のうち1輪でも異なるタイヤを装着していると、操縦安定性・ブレーキ性能が悪化し、事故につながる可能性があります。

また、前輪と後輪のタイヤの摩耗状態、サイズ、銘柄が異なったり、指定の空気圧でないと回転差が発生し、デファレンシャルギア内の負担が摩擦熱となって、高速道路や一般道路などでの連続走行中にギア内が異常過熱して、デファレンシャルギアの焼き付きによる走行不能や、発火による車両火災へつながるおそれがあります。

### 4WD車のタイヤ点検・交換時の遵守事項

- ①前、後輪それぞれに自動車メーカーが指定したサイズを使用する。
- ②タイヤメーカー、銘柄、パターン（溝模様）を4輪とも同一とする。
- ③タイヤ交換を行う際には、4輪を同時に交換する。
- ④摩耗差の著しいタイヤを混せて使用しない。

※タイヤの溝深さを必ず計測し、摩耗差の著しいタイヤを使用しないこと。

摩耗差が著しい場合には4輪とも同一サイズ、同一銘柄の新品タイヤに交換すること。

- ⑤各タイヤ（含 応急用スペアタイヤ）の空気圧を指定空気圧に調整する。

※取扱説明書または運転席ドアを開けたボディー側に貼ってある「タイヤ空気圧」のラベルをご覧下さい。

前、後輪で指定空気圧が異なる場合があります。

- ⑥応急用スペアタイヤは自動車メーカーの指定した位置に装着する。

※取扱説明書を参照してください。

- ⑦冬用タイヤ（スタットレスタイヤ）を装着するときも上記①から⑤に注意する。